

妙法寺だより

今を生きる智慧と勇氣ともに学び歩むお寺

VOL.262

冬 号

12

2025 WINTER
季刊誌2025年12月発行



- ・ 大祈禱会・初詣のご案内
- ・ 住職のCOFFEE TIME
- ・ 大晦日のご案内
- ・ 来年の年回忌法要
- ・ 葬儀の高額請求トラブルについて



大祈禱会

だい
き
とう
え

正月特別奉安 開運大毘沙門天

令和8年1月11日（日）

午後1時 新春お笑いライブ
芸人さんの福引き大会

午後2時 大祈禱会

祈禱会終了後 車両祈禱

午後1時 新春お笑いライブ

お笑い大好き住職が新年の福笑いを皆さまにお届け！

銀
シ
ヤ
リ



2016年 M-1グランプリ 12代目王者
2025年 第60回上方漫才大賞
TV、ラジオ、劇場、ライブなどで活躍中



で
す
よ。

「あーい、とういまでーん！」「YO!YO!です
YO!」などのフレーズで、2007年「エンタの
神様」でブレイク。

午後2時 大祈禱会

祈願札のお申込は次のページをご参照ください



ひとり一人の法華経をお当てします



お申込いただきました多くの祈願札



祈禱会後には裏墓地での車両祈禱



大荒行堂の修行を修了した修法師

大祈禱会では、日蓮宗の大荒行堂で修行された修法師を多数迎えし、日蓮宗古来より伝わる、加持祈禱によって、お申込いただきました「祈願札・御守」に入魂祈禱を行うと共に、おひとりお一人にご祈禱を行い、一年間の安泰をご祈願します。また車両の祈禱も墓地駐車場にて執り行います。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご家族揃ってご参拝ください。

祈願内容一覧

- A 家内安全 家族が円満に過ごせますように
- B 身体健全 健康で過ごせますように
- C 交通安全 交通の災難に遭いませんに
- D 當病平癒 病が治りますように
- E 商売繁盛 商売が繁盛しますように
- F 事業繁栄 事業が栄え成功しますように
- G 社運隆昌 会社が栄えますように
- H 学徳増進 勉強ができますように
- I 合格成就 志望校に合格できますように
- J 発育増進 お子様が元気に育ちますように
- K 心願成就 心に秘めた願いが叶いますように
- L 除厄開運 厄を除き幸運に恵まれますように
厄年に当たられている方の厄除け
- M 夫婦円満 夫婦が仲良く過ごせますように
- N 安楽産福子 元気な子供が産まれますように
- O 寿命長遠 元気に長生きできますように



車両祈願

お申込は年内に
◀申込フォーム▶

一般祈願



女性

数え19歳
前厄 平成21年生
本厄 平成20年生
後厄 平成19年生

数え33歳
前厄 平成7年生
本厄 平成6年生
後厄 平成5年生

数え37歳
前厄 平成3年生
本厄 平成2年生
後厄 平成元年生

数え61歳
前厄 昭和42年生
本厄 昭和41年生
後厄 昭和40年生

令和8年 厄年

男性

数え25歳
前厄 平成15年生
本厄 平成14年生
後厄 平成13年生

数え42歳
前厄 昭和61年生
本厄 昭和60年生
後厄 昭和59年生

数え61歳
前厄 昭和42年生
本厄 昭和41年生
後厄 昭和40年生



特別祈願：15,000円 (大きな御札)

一般祈願：3,000円

車両守札：3,000円

(同申込者は2台目以降は1台につき2,000円)

古い御札 正月飾り



お焚き上げ



昨年の古い御札、正月飾りのお焚き上げ供養は、受付に専用箱を準備いたしましたので、お入れください。燃えないものは、お焚き上げできないため、外してお持ちください。



生花の販売

12月30日～1月11日



年末のお墓参りでは、ご先祖様に一年間の無事への感謝を伝え、年頭には今年一年の安泰を祈りお参りしましょう。

1対 1,500円 (お線香付)
1束 750円



お台所にお祀りいたします「普賢三宝荒神」様の御札は、12月30日～1月11日まで、ご用意しております。1体1000円

妙法寺特製御守 祈るこころ



大好評をいただいております、妙法寺の特製御守は、年末年始や大祈祷会にて授与しております。

初詣

妙法寺ではお正月の三箇日、初詣の皆さまのお越しをお待ちしております。本堂正面には開運の神様である「大毘沙門天王」を特別奉安し、「妙法寺特製 御守」や「おみくじ」なども授与しております。





来年のNHK大河ドラマ

「豊臣兄弟」にご注目

今回の住職のコーヒータイムは、来年のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟」について、少しでも舞台裏を交えながらお話ししたいと思います。

仏事監修ってナニ？

実は現在、私（住職）は来年の大河ドラマ「豊臣兄弟」で仏事監修・仏事指導という役目をいただいております。「大河ドラマでどんなお仕事をするの？」と思われる方も多いかと思いますが、これがなかなか難しい仕事です。今回の舞台は戦国時代。当時の京都には多くの寺院が立ち並び、物語の中にもさまざまなお寺が登場します。特に日蓮宗寺院も重要な場面で登場するため、寺院のセットづくりや僧侶役の俳優さんへの所作指導、劇中で使用する法衣の提供などを担当しています。たとえば、「この場面で僧侶はどのような所作をするのか、どのようにお経を唱えるのか？」「この時代の法衣はどのようなものであったのか」といった時代考証を行い、細部に気を配り、歴史と宗教の世界観が崩れないよう監修していきます。こうした積み重ねが、視聴者が無意識に受け取る「本物らしさ」につながっていきます。

ちなみに、第12話には、私も日蓮宗の白い法衣姿でちょこっと出演させていただきました。もしかすると画面のどこかに映っているかもしれません。もしカットされていたら……そのときは「ああ、住職、幻の出演回だったんだな」と笑ってください。

豊臣秀長ってどんな人？

どんなドラマ？

主人公は、仲野太賀さんが演じる「豊臣秀長（小一郎）」。「あの天下を取った豊臣秀吉の実弟です。兄・秀吉の躍進の影には、この秀長の存在がありました。兄が前へ前へ進む一方で、弟の秀長は風のように場を整え、人を和らげ、衝突をおさめていく。派手さよりも「人を生かす才」に秀でた人物でした。戦国時代は、力や野心が渦巻く世界です。しかし、その中にある秀長は、誠実で穏やか。人の話をよく聞き、相手が何を望み、何に傷ついているかを敏感に察する力を持っていました。



今回の大河ドラマは、この対照的な兄弟が「家族として」

「戦国大名として」歩んだ道のりを弟の視点から描きます。戦や政治だけではない、「人情味」がしっかりと描かれるのが魅力です。

実力派の出演者がずらり

主演の仲野太賀さん、兄・秀吉役の池松壮亮さんをはじめ、織田信長役に小栗旬さん、秀吉の正室・寧々役に浜辺美波さん、秀長の正室・慶役には吉岡里帆さん。さらに竹中半兵衛に菅田将暉さん、明智光秀には要潤さんと、まさに豪華絢爛。個性と深みのある俳優陣が勢揃いし、物語をより立体的に彩ります。

来年の大河ドラマ「豊臣兄弟」は、「支える力・寄り添う心」が大きなテーマになると感じています。戦の世であっても、人が人を思い、互いを生かし合う姿が描かれます。それは現代を生きる私たちにも大切な学びがあると思います。どうぞ来年の放送を楽しみにお待ちください。

信長と日蓮宗のご縁

「信長といえば「本能寺」と思っていないませんか？」

仏事監修のご縁で、最近、京都の日蓮宗本山「本願寺さま・妙覚寺さま」に参拝いたしました。ドラマにも登場する寺院です。特に妙覚寺は、織田信長ゆかりの寺として知られています。室町時代に創建され、国宝「洛中洛外図屏風」にもその壮麗な伽藍が描かれています。実は、信長が京都に滞在した20数回のうち、18回は妙覚寺に宿泊しているのです。有名な本能寺には、わずか3回だけの宿泊。その3回目に、あの「本能寺の変」が起きました。また、本能寺の変の際、妙覚寺には信長の嫡男・信忠が宿泊していました。明智光秀の謀反を知った信忠は、妙覚寺を出て急ぎ二条新御所へ向かい、奮戦の末に自害します。まさに歴史の渦中にあった寺院です。



本山 妙覚寺

大晦日

除夜の鐘

午後十一時

歳末報恩法要

本堂

午後十一時半

除夜の鐘開始

鐘堂

午前零時

新年祝禱会

本堂

午前零時半

除夜の鐘終了

鐘堂



令和八年 年回忌表

一周忌	令和七年
三回忌	令和六年
七回忌	令和二年
十三回忌	平成二十六年
十七回忌	平成二十二年
二十三回忌	平成十六年
二十七回忌	平成十二年
三十三回忌	平成六年
三十七回忌	平成二年
四十三回忌	昭和五十九年
四十七回忌	昭和五十五年
五十回忌	昭和五十二年
百回忌	昭和二年

年回忌のお知らせを同封いたします

来年、年回忌に該当される方に「年回忌のお知らせ」を同封いたしております、ご確認ください。希に古い字などで誤植がある場合がございます。その際には、何卒ご海容いただきまして、お手数ながらお知らせいただけますようお願い申し上げます。



※ご法要は御命日より前に行いましょう。

※お申込はお早めをお願いいたします。

※ご法要のご予約は、ホームページからでも行えます。

樹木葬のパンフレット同封いたします



以前よりご案内しておりました樹木葬のパンフレットが、このたび完成いたしましたので、同封にてお届けいたします。

お陰さまで大変ご好評をいただき、すでに8ヶ所のご予約を承っております。随時ご見学も受け付けておりますので、ご関心をお持ちになりそうなご親戚やご友人、ご近所の方がいらつしやいましたら、どうぞお声がけくださいませ。

– 10 –

亡くなつて2時間以内に

さまざまな判断が家族に迫られる



妙法寺の檀家さんでも高額請求のトラブルで辛い思いをされた方々を多く見て参りました。「病院で紹介された葬儀社にお願いしたら、後から思わぬ高額請求が届いた」「ネットで「格安」と書かれていたので安心したのに、追加料金が次々とかきみ困つてしまった」という声です。悲しみの最中に、さらに胸を痛める出来事が起きてしまう。これほど残念なことはありません。

私自身、父と母を見送った経験がありますので、皆さまの戸惑いは痛いほど分かります。多くの方が病院で最期を迎えられ、ほどなく霊安室へと移られます。そして看護師さんからは、「2時間以内にご遺体を搬送してください」と案内されるのが一般的です。深い悲しみの中、気が動転し、頭が真っ白になります。その状況で、冷静な判断を求められても無理があります。「どこの葬儀社がいいのか」「何を基準に選べばいいのか」——その判断材料がないまま、時間に迫られて葬儀社を決めなければならぬ。また相場もよくわからない。

私の場合は僧侶として数多くの現場を経験しているため、頼れる葬儀社をすぐに手配できます。しかし、一般の方に同じ判断を求めるのは酷なことだと、いつも感じています。そして実際、搬送を担当した葬儀社にそのまま依頼し、後日になって初めて高額請求に気づく——そんなケースを何度も目にしてきました。

まずは住職に聞いてください

葬儀は、やり直すことができない故人の人生を見送る最期の大事な儀式であり、故人を送るためだけではない、残された人が、悲しみの中で次の一步を踏み出すための大切な時間です。だからこそ、納得のいく形で行われることが何よりも大切です。広告の言葉に一喜一憂せず、落ち着いて、判断していただきたいと思います。

妙法寺は、皆さまの人生のそばにあります。困ったとき、不安なとき、そして迷ったときこそ、「まずは住職に聞いてみよう」と思っていたければ幸いです。

妙法寺のお葬儀プランを作成

このような現状から、妙法寺の檀家さんや関わる人たちには、このような悲しい思いをさせないよう、安心して葬儀を行えるように「妙法寺プラン」をつくり、数年前から運用しております。プランをつくるにあたっては、「故人への尊厳、ご遺族の想いを大切にしながら、経済的負担が少ない葬儀」をコンセプトを目指しました。

「妙法寺プラン」を作成してくれたのは「横浜セレモ株式会社様」、横浜セレモの森社長さんは、妙法寺の古くからの檀家さんであり、その誠実な姿勢から妙法寺で葬儀を行う際は横浜セレモさんをお願いしており、昨年、旅立ちました私の母の葬儀も担当していただきました。

次のページに詳細なプラン内容を掲載いたしましたので、
ご参考ください。

妙法寺と横浜セレモ 共同企画

お葬儀 妙法寺プラン 660,000円 (税込)

故人への尊厳、ご遺族の想いを大切にしながら経済的負担が少ない葬儀を目指しました

プラン内容



〈変動費用〉

- 搬送費用 23,000円～ (距離や時間により変動)
- 火葬料金／12,000円 休憩室利用料／5,000円 (横浜市営斎場)
- 安置料金 10,000円／1日 (安置日程により変動)
- ドライアイス追加 8,000円／1回 (安置日程により変動)

【 葬儀社さんへの費用は妙法寺プラン+変動費 】

妙法寺にかかるお布施はどれくらい？

～一般的な葬儀を妙法寺で行った場合のお布施の目安～

- ・お布施 300,000円：お戒名（法号）・お通夜・お葬儀のお布施
 - ・会場費 100,000円：妙法寺の会場費はお布施の三分の一程度が目安
 - ・初七日法要 50,000円
- 合計：450,000円

上記のお布施は目安です。ご予算などについてはお気軽にご相談ください。

担当の葬儀社さん「横浜セレモ 株式会社」

横浜市全域 24時間 365日対応

☎ 0120-594-852



本堂での葬儀の一例写真